

柿木図書館等の更新に関するワークショップ（第2回） 各参加者の振り返りシートの内容

本日のワークショップの良かった点

- ・班分けが前回と同じで、参加者同士が初対面ではなく、ある程度、それぞれがそれぞれの関心や考えを理解しており、議論が深められました。また、今回初めて参加された方もいらっしゃり、新鮮な意見を伺うこともできました。
- ・区により準備された参考資料は、多量の情報を上手にまとめられており、対象施設の理解、将来に向けた財政状況・潜在的利用者数に関する理解、対象施設の更新に関する住民、利用者、施設運営者の多様な意見についての理解が深められ、考えの形成と議論に有益でした。

今回コミュニティふらっとについての説明があった事 ゆうゆう館としての活動が維持出来るか不安だったが説明を受けて納得する事が多かった。

新しい取り組みに期待します。

皆さんの色々な考え方や意見を聞けた事。区が第1回目の他の班での意見やWS以外の方の意見を整理して下さっていたため アイデアが出しやすかったです。

区の施設運営を詳しく知ることができました。殆どの施設が委託となり、運営する民間企業により大きな違いがあり、区はその内容までは関わらないと理解しました。

グループのメンバーからたくさん意見が出た。全体的に活発な意見交換会だった。

各グループのメンバーの意見を遗漏なくお聞きになる姿勢がすばらかったです。

前回と同じメンバーで議論したため、緊張せずに話をすることができた。ワークを2回に分けて議論でき、頭を切り替えることができました。ワーク1のお題が難しかったです。

○図書館の本について、いろんな意見が出て、今後の方向性が見えた気がした。（乳児期の本の読み聞かせの重要性、ラウンジの有無）。

○ゆうゆう館、集会所についても活発な意見が聞かれた。

○保育園についても安全性等話し合われた。

図書館の場所が、更地で、建て替えられるようになると、色々な考えが加わると思った。

今まで出ていた意見がまとまっている感じがしてよかったです。

いろいろな世代の方の意見を聞いて、区の施設への認識が深まりました。

前回の開催場所（小学校の体育館）よりもコンパクトな空間だったので、声も聞き取りやすく、アットホームで話し合いができる良かったと思います。

配布資料がよくまとまって、見やすくて良かったです。枚数が多くてびっくりといわれていましたが、このぐらいになるのは仕方ないと思います。

具体的に活発な意見を聞くことができた。区の説明がわかりやすかったです。

関連部署の方も多数参加してもらい、質問ができ理解が深かったです。

論点が整理されており、議論しやすかったです。

アンケートなどがカテゴリー分けされていて、分かりやすかったです。

データもよかったです。

事前に配布された資料がとてもわかりやすくワークショップに大変役立ったと思う ワークショップの雰囲気がとても良かったと思う。（職員の方々の雰囲気づくりに感謝します）

本日のワークショップで伝えられなかったこと

ワークの難易度が高かった。

事前に資料を送ってもらったのに、目を通さずに伺ったため、準備不足だった。

ありません。

特にありません。

特になし。

特にございません。

ゆうゆう館とコミュニティふらっととの違いについてですが、以前（2～3年前）井草地域区民センターの協議会でも同様のPRイベントをやったらどうかという話がありました。

→協働事業・地域懇談会のテーマになりそうだなど（タイミングが合えばやれるかもしれません）。

・区が挙げられた10個の「取り組みへの期待」に対して、「地域活動（町会活動を想定）の拠点としての機能の維持」という視点も11個目の「取り組みへの期待」として含めるべきではないかと申し上げました。四宮区民集会所は、複数の町会が役員会やその他の会合・作業を行うために定期的に利用することで、町会活動の拠点としての機能を担っています。個別のロッカーや、リソグラフやコピー機、裁断機等の事務機器を備え、それらを利用ることができなければ町会活動に大きな支障をきたすと考えられます。このためにも地理的位置が非常に重要で、現在の場所での更新を切に望みます。

・柿木図書館は、60年間地域のシンボルとして、住民に愛されてきました。外観も今建てられている建物にはない美しさがあり、可能であれば、外観をそのままにして内部をリノベーションするという更新の方法が採れないかと考えます。様々な制約で難しければ、費用面を工夫して今の建物の利点を継承するという視点も設計に加味していただきたいと願います。シンボル性という見地からも、現在の場所での更新は必須だと考えます。

・「取り組みへの期待」②に関連して、近隣に大人数でのいわゆる宴会を開ける場所がなくなってきたことから、集会所でアルコールを含む飲食を行うことを許可していただきたい考えます。そこで交流が生まれる場ができることも非常に重要だと考えますが、生まれた交流を更に深める場が提供されることも同様に重要だと考えます。

施設を一体化するにあたり、よく二世帯にもあるように、カギのかかるドア等を利用して、多機能的に（将来的に）使える工夫があっても良い。

最終的に使用できる場所、使用面積が決まらないと話し合う意味がないと思う。（一部の方の意見です）「保育園」子ども誰でも通園制度のニーズが高まると思うので園庭は広くした方が良いと思う。今川保育園の建替に対応できる様にしてほしい。一時預かりに特化した保育園の設置も検討してほしい。「ゆうゆう館」保育園跡地に建替の場合は、四宮森児童館の有効活用も考えた施設設計をしてほしい。外から見やすい施設にしてほしい（苦手な人がいるか知りたい）「コミュニティふらっと」集会所跡地に建替する場合は部屋の機能に関しては要検討して下さい（四宮森児童館が中高生機能優先になる可能性→機能重複）柿木図書館跡地を活用するなら公園の併設があった方が利用者も増えると思う。「集会所」柿木図書館跡地に設置するなら集会室機能は少なくする検討もしてほしい（区民センターとの機能集約）。保育園跡地に建替するなら下高井戸区民集会所の様な体育室を作り井草地区をスポーツの町にしてほしい（旧杉並中継所にアーバンスポーツ施設ができるかもしれない）。和田区民集会所の様な雰囲気のオープンスペースがあると良いと思う（照明、おしゃべりしやすい等）。「図書館」広い面積が取れれば高円寺図書館のようなあそびごころがある施設を作ってほしい。広い面積が取れなければよりシンプルな施設にするのもありかと思う。

ありません。

【グループワーク①】について 全体最適受益者負担の観点充分に考慮して欲しい 誰にとっても使いやすい=すべて中途半端な施設機能になってしまい心配がある 多文化共生社会に対応した施設づくり 施設移転機能変化によって今までのコミュニティがなくなってしまう可能性も充分に考慮して欲しい 運営維持で一番大事なのは施設周辺の住民の理解を得る事だと思う 施設ごとの職員と利用者との適正な距離感が大事だと思う 安心は主観的な要素が強いと思うので共通のものさしがあった方が良いと思う 周辺施設との差別化役割の明確化が必要だと思う（区民センターや児童館 等）学びのプラットフォームとの連携を実践して欲しい 老人福祉法の観点を考慮した施設づくりが大事だと思う 柿木図書館の文化価値を考える 今までの歴史を継承しながら新たな柿木エリアのシンボルをつくり出す事も大事だと思う（今までにない発想が大事）仮園舎は作らない事が重要だと思う（建設時に多少の不便さ）は残る シンプルな施設づくりも検討すべきである フレキシブルな部屋づくり（他施設に代用可能）は必要だと思う 【グループワーク②】について 「保育園」 区立保育園（中核園）としての4つの大きな役割を担う為に関連部署との密な運営調整会議等を行なって有益な情報交換機能強化を隨時行なって下さい（縦割り行政の打破）園児抜け出し防止の為の対策強化の実施（鍵の変更 防犯カメラ ブザーの活用）樹木の植栽（柿木図書館からの移植）を行ない地球温暖化対策 外から園庭を見にくくするようにして欲しい 夏の園庭遊び（熱中症対策）にロール式の日除けの活用を検討をして欲しい 雨にわざくり管理のプログラムがあるとより環境問題に興味が持てると思う 近隣区立保育園の建替時や私立保育園閉鎖の際対応できる為にもある程度の敷地面積部屋数は必要だと思う（多目的室やホールをあえて作り認可保育園等にも時間利用できるシステムを作る 園児数が増えたら用途変更する）「ゆうゆう館」 井草地域のゆうゆう井草館とくらべて利用人数が大幅に少ない傾向があるので原因を分析して今後の施設整備に活かして欲しい 現状の委託業者さんの対応が良いので引き続き委託業務を行なって欲しい 事務室が狭いのでもう少し広くしてあげて欲しい 新規の人でも参加しやすいプログラムを増やして欲しい スロープ登るのがつらいので施設は1階に作って欲しいおひとり様対応のプログラムを増やして欲しい（引きこもり 認知症対策）「集会所」 井草地域の八成区民集会所とくらべて利用人数が大幅に少ない傾向があるので原因を分析して今後の施設整備に活かして欲しい 集会室の中にパントリーのある部屋も作って欲しい ゆうゆう館のようにテレビを置いて欲しい（病院のように字幕放送）談話コーナーに自習コーナーはいらない（利用者同士が気を使いトラブルの元になる）現状の委託業務さんの対応が良いので引き続き委託業務を行なって欲しい 「図書館」 男女平等推進センターの本も柿木図書館で借りれるようにして欲しい（現状共通管理システムがないと認識）多文化共生の観点からも外国語の書籍も増やして欲しい（数年前まではネパール語の書籍は0冊だったと認識）近隣児童館子育てプラザへの本の貸出を増やして欲しい（児童館子育てプラザの図書スペースが減少し図書にふれあう機会が減少していると認識） 電子図書の閲覧の検討もして欲しい

い 「複数の施設」 利用者の移動手段として保育園は自転車ゆうゆう館は徒歩図書館集会所は自転車徒歩を主に使用していると思うので施設配置する際の検討要件に加味して下さい。

広いロビーラウンジ談話コーナーがあると施設に入りやすい のんびり出来るソファー席やカードゲームが出来るテーブル席があると良い（高井戸地区区民センターではラウンジで学生がよく麻雀やってます）セシオン杉並の様な乳幼児コーナーが欲しい 永福和泉地区区民センターのような和室コーナーが欲しい 音楽演劇マットを使った格闘技の練習が出来る防音設備の整った部屋が欲しいWi-Fiゲームが出来るコーナーは必ず必要（子どもたちのニーズ）だと思う バリアフリー法に則った施設整備（多目的トイレ エレベーターの大きさ スロープ等）を重視した施設設計をお願いします 屋根のある駐輪場の整備をお願いします（雨天時のイベント等に活用）施設運営のルールはあまり細かく決め過ぎないようにして欲しい（利用者の良識を感じて欲しい）高齢者や障害者外国籍の方々がより使いやすい施設を作りたい（アナログ対応の併用 職員のスキル向上 表示方法等）周辺の小中学校児童館を含めた区立施設の更なる連携強化（情報交換 合同イベント 勉強会等の実施）をお願いします 井草地区区民センターを中核とした周辺地域コミュニティ（井草地区区民センター協議会 自治会 PTA 青少年育成委員会 商店会等）更なる連携強化をお願いします（合同意見交換会の実施等）近隣住宅に充分配慮した駐車場駐輪場の設計をお願いします 子どもの急な飛び出し等に対応した出入り口の設計をお願いします ガールレールや自転車レーンの確保など外周周りの整備も考慮して欲しい ゾーニングはしっかり行なった方が良いと思う（静かに1人でものんびりすごせるスペース 複数人でおしゃべりやゲームが出来るスペース）図書館エリアの大きさに関しては重点的に検討を行なって下さい 図書館エリアを充分に確保して多様化する区民のニーズに対応していく 図書館エリアは最小限にする（学びのプラットフォームを活用した学校図書館の利用 周辺施設の図書コーナーの設置 児童館子育てプラザの図書室の活用 電子図書の閲覧による使用スペースの削減等）検討も考えて欲しい 自習コーナーの活用に関しての検討も考えて欲しい 井草地区区民センターの自習コーナーはエリア分けもきちんとされていて広さも充分確保されているので無理して自習コーナーを作る必要はなくても良いかもしれない（図書館は除く 現状の集会所のスペースは無理して作っているようにみえる 子ども居場所基本方針の運用方針の変更が必要）空室の更なる有効活用が必要だと思う（一般無料開放の拡大 保育園等の利用拡大 空室活用しての自習室の拡大 多目的利用の促進等）空室情報や一般無料開放等の情報の共有化の向上が必要だと思う（学校保育園での当日一般開放等の告知を行なう等）冷水機の設置をして欲しい（図書館使用）マイボトル対応の給水冷水機だと施設管理者の対応が大変だと思う（マイボトルが無いと利用しづらい） 「コミュニティふらっと」区内のコミュニティふらっとの規模がエリアによって違ひ過ぎる（ふらっと高円寺南とふらっと方南ふらっと阿佐ヶ谷等）ので柿木エリアに作る際の規模感が分かりづらい（新規建替なら融通は利く）コミュニティふらっとになるとゆうゆう館の時のようなきめ細かい利用者への対応が出来ないと思う（業務委託内容の変更が必要かと）集会所よりも業務委託会社の自主企画が多くなり一般団体利用がしづらい面もあると思う 地域コミュニティの中核である井草地区区民センター協議会の関与（影響力）が少なくなってしまい地域の求める自主事業になるか不安になる集会所やゆうゆう館の自主事業に比べて参加費用が高い傾向があり新規の利用者が更に使いにくいと思う 柿木エリアにコミュニティふらっとを作るであれば周辺のゆうゆう館の存続は特に必要だと思います（区内の核となる公園のように地域にバランスよく必要な施設を整備して欲しい）施設が出来た経緯改修した建物が児童館だったので（元児童館利用者のニーズを優先）コミュニティふらっと東原の運営が特に子どもたちに寄り添っているのは充分理解しているつもりだがコミュニティふらっと本来の役割（ゆうゆう館の機能継承 土曜日の午後多目的室がほぼほぼ使えない 自主企画の内容）としては不満があるのでこのような施設運営に柿木エリアのコミュニティふらっとがなるならあえて複合化せずに併設でも良いのかと思う コミュニティふらっとが併設すると現状図書館の開館時間が単独館より長くなる コスト面から考えたら絶対にコミュニティふらっとにした方が良いと思う 区内には出入り口が一体化した併設施設（今川図書館やゆうゆう下高井戸館）などもあるので現場の意見を聞いてワークショップのたたき台の参考にして欲しい 自販機だけではなく土日だけでも軽食販売をして欲しい 阿佐ヶ谷地区区民センターのような安価なドリンクバーが欲しい施設の屋上は太陽光パネルではなく屋上農園にした方が柿木エリアらしさだと思う 施設には柿木や四宮の名前は残して欲しい【具体例】①四宮保育園の移転先があるなら現状の保育園や集会所にそのまま集会所ゆうゆう館（コミュニティふらっと）柿木図書館も現状の場所で改築工事出来たらコスト面でも地域コミュニティの維持にも最適だと思います②施設は保育園と図書館（コミュニティふらっと併設）にし設備投資費の削減運用コストの削減を図り将来世代への負担を減らす（コミュニティふらっと永福をイメージ規模感がほぼ同サイズ）③四宮保育園とゆうゆう館を併設し柿木図書館と集会所を併設（利点が少ないような気がする）④保育園と集会所を併設し柿木図書館とゆうゆう館を併設する（今川図書館をイメージ 保育園と集会所は活用方法次第で親和性が高まる）⑤四宮保育園と無人会議室を併設し柿木図書館にコミュニティふらっとを併設する（無人会議室を設置する事によって地域コミュニティの維持や保育園の園児増加にもつながる 柿木図書館の図書スペースの確保に繋がる）【グループパワーク（追加）】について 高井戸地区区民センター第9集会室のような展示会場にしやすい部屋があつても良いと思う（出入り口の壁がパーテーション）ゆうゆう館も土足で基本使えるようにする検討もお願いします（現状土足禁止のはず）西荻南区民集会所（ここだけ元児童館活用）のように土足禁止の施設の検討もお願いします 図書館は無料施設なので出来るだけ図書館にプラスアルファの機能をつけて欲しい コミュニティふらっとではない多世代交流施設を作りたい（他区の施設を参考に）集会室のほかに高齢者が集まる談話コーナーや常に一般利用出来る多目的室（利用者同士の交流が生まれる）等無料のエリアを増やす事によって地域コミュニティ力の向上利用者数の増加が考えられる 一部の個人団体等が毎日使える施設にするのか今まで区立施設に来なかつた層を呼び込むような施設にするのかに

よって必要な施設機能が違うと思う（どんな施設を作っても利用しない人は一定いる）小学生の居場所（学習ゲームコーナー等）に関しては後数年で全区立小学校内に放課後等居場所事業学童クラブの小学校内移転（空室ができる）が行われる事も充分に考慮して施設設計して欲しい 中高生の居場所に関しては中高生優先機能児童館の設置の検討計画（現状の区の方針では四宮森か上井草になると認識）がある事を充分に考慮して施設設計して欲しい 涼み処としての機能強化をします（現状ただ施設を指定しているだけ 利用可能人数1人から2人の所もあると認識）自習コーナーを作るなら設置場所や設置施設を再度検討して欲しい（区の方針はわかるがただ自習コーナーのスペースの作ってるだけで集中出来る環境ではない施設が多いと認識 区の方の見解が知りたい）

その他感想や質問

・前回今回を含めて、更新に当たっては、柿木図書館と四宮保育園・ゆうゆう四宮館・四宮区民集会所の場所を交換することなく、それぞれ現在の場所で更新していただきたいと申し上げてきました（四宮保育園・ゆうゆう四宮館・四宮区民集会所は現在の場所で複合的・融合的に更新されることはある得ると考えています）。この場合、現実的な問題として、更新工事中の代替地の確保が重要な問題になると見えます。代替地としてどのような選択肢が考えられるのか、次回のワークショップでは是非伺いたいと考えますし、案を募っていただきたいとも考えます。

コミュニティふらっとについては納得しましたが、保育園、図書館、集会所の立て直しの今後については課題が多く中々結論が出ない様に思われます。

どの施設も、現在、利用している人がいて、それぞれの生活の中で施設を活用していることを考えると、施設の場所の移転はどの施設にしても望ましくないと考えました。（建て替え中の一時仮移転は仕方ないとしても）

資料の準備や進行など、とても丁寧な運営だった。

ありません。

ワークの時間もちょうど良かったです。ありがとうございました。

ありがとうございました。

自分の考えがうまく文章にできず、しゃべっているだけで申し訳なく思いました。

データ等しっかり準備いただきありがとうございました。

司会進行の手腕がすばらしく感心しています。

ワークショップの準備だけでも大変だと思います。ありがとうございました。

集会室的な多目的室が図書館にあると良いと、地域交流の意味からも思いました。

グループワーク以外にオープンハウス形式で質問出来たらより理解が深まったと思う。

「施設の場所の確保」11月6日の都市計画審議会の内容より、生産緑地の転用が難しいと思う。上井草エリアの道路拡張による生産緑地の廃止。都市農業の必要性。生産緑地の削除面積の少なさ等。区の方から基本的に買収の話はしないということは理解した。コミュニティふらっとの見学時に少しでも良いので土地の買収見込みがあるのか知りたい。ゆうゆう館からコミュニティふらっとに施設転用した際に、本当に機能継承しているのかを検証してほしい。

区民集会所とコミュニティふらっととの対比はありましたか、ゆうゆう館も加えてください。今回のような対比だけの場合、ほとんどの人がコミュニティふらっとにした方がよいと考えると思います。区民集会所やゆうゆう館のいいとこ取りをしているのがコミュニティふらっとなので、当然だと思います。

しかし、ゆうゆう館を利用していた人からは、コミュニティふらっとは使いにくい、対応がよくないというお話を聞きます。コミュニティふらっとの関係者からも同様のお話を聞きました。ゆうゆう館を利用している人からは、ゆうゆう館のまま残して欲しいという要望が多いように感じています。以前は、コミュニティふらっとになったら、高齢者は使えなくなると思っている人もいました。今でもいるかもしれません。それに長所、短所がありますので、単によい、悪いではなく、具体的にどのような点がよいのか、どのような点が悪いのか、将来的に悪い点は改善されないので等をまとめていただきたいと思います。ワークショップに参加している多くの人がゆうゆう館やコミュニティふらっとを利用ていません。そのような方達にも理解していただけるように、具体的な説明を希望します。個人的には、区民集会所とゆうゆう館をいっしょにしてコミュニティふらっとにするのがよいと思いますが、既存の問題点を明らかにせずに議論することは、今後、クレームが来かねないと感じます。

【次回のワークショップまでに知りたい事等】ざざんかねっとの利用コード2002懇談会（飲食含む）が使用出来る利用基準が知りたい（パントリーの有無 洋室和室の有無 等の必要要件は何となくわかるが方南町会館だけはわからない）柿木エリアの集会室で懇談会（飲食含む）をする事は可能なのか知りたい ざざんかねっとの利用目的（営利目的）の基準が知りたい ざざんかねっとに登録している段階で営利目的の団体個うがホールやイベント使用時の物販販売の基準が不明確だと思う（CD販売や書籍販売は文化の啓蒙活動の位置付けとしてダークゾーンだとは思うがサイン入り私物販売や主催者団体のキャラクターグッズの販売があると思う）各地域区民センターによって基準が違うように思うので柿木エリアではどのようにになっているのか知りたい（現状井草地域区民セン

ターのエリアでは問題ないと認識) ざざんかねっとの政治利用についての基準が知りたい 改めて杉並区で政治利用出来る施設はどこなのか知りたい 柿木エリアの施設で政治利用出来る施設にするには何が必要なのか知りたい 区施設の夜間利用等利用頻度が少ない時間に行政利用(会派ごとの区政報告会 各種委員会の区民との意見交換会等)に使い空室の利用率向上及び行政議員との対話の区政を進めてもらいたい ざざんかねっとの集会施設とスポーツ施設の利用方法について知りたい 集会施設の和室を使っての柔道等の受け身のあるスポーツの練習は可能なのか(本来の使用目的とは違う活動だとは思う) 現状の運用ルールと実運用が違っているので柿木エリアの施設再編をきっかけに区民ニーズに対応した新しく運用ルールを作って欲しい 現状区民生活部の寛大な理解の下施設利用させてもらってますが段々と利用者が都合よく利用方法を解釈してゐる気がします 営利目的利用の推進も検討お願いします 区の税収向上や空室率の減少地域コミュニティ活性化の為(収支報告あり 利益の上限を決める) 集会室等の営利目的利用が出来るようにして欲しい 現状四宮区民集会所を先に解体する事によって四宮保育園の現地建替は物理的に可能なのか知りたい(園児のお昼寝 園児への危険度等) 代替地のめどがたたない場合は柿木図書館を解体して仮園舎を建てるかそのまま移転先にすると考えて良いのか知りたい 仮園舎を建てて本園舎完成後解体するまでいくらぐらいかかるのか知りたい(4億から5億位だと予測)他のエリアでは仮園舎を作らず移転先に新園舎を建設しコスト削減を行なったのでこのエリアではなかなか難しいとは思うが仮園舎を作らない設備計画を建てて欲しい。もしも四宮保育園の仮園舎が必要な場合どのエリアまでを考えているのか知りたい(保育園利用者は自転車利用が多いと思う) 井草森公園やはらっぱ公園なら仮園舎を作らなくても良い敷地面積があると思う(公園の用途変更是なかなか難しいとは思うが以前に保育園にした前例があると認識) 旧杉並中継所跡地に平時に区民が使える場所が出来たら公園利用者の不満も少なくなると思う 生産緑地の転用(用途変更の難しさや地権者関連部署との調整が難航しそう) すぎのこ農園や上井草2丁目団体利用農園の転用(用途変更の難しさや地権者産業振興センターとの調整が難航しそう) 上井草自転車集積所の転用(放置自転車は以前より減っていると認識 都市整備部と調整 現在地より多少離れている所が問題点) 四宮集会所の横の駐車場は買う事が出来ないか(区として何か具体的な行動は起こしているのか) 都有地の買収等(近隣の都立高校の一角 水道局関連の施設)の方が民間の地権者より何かと調整しやすい気がします 各施設とも区役所から掲示物やチラシの管理が大変なような気がします 本当に必要な展示物やチラシなのか各所管で確認して欲しい(施設によっては置くスペースがないのでチラシが二つ折りになってしまったりそもそも掲示物を区民がみえる所に貼っていない施設もあると認識) 現場の負担を減らす為にも柿木エリアにデジタル表示板等の検討もして欲しい

【次回のワークショップまでに知りたい事等追加】 コミュニティふらっとの見学には永福成田馬橋の3館が良いと思う 残りのコ ミュニティふらっとは他施設からの転用改修度合が高すぎると思う 仮園舎が必要な場合は再度四宮小学校四宮森児童館(今川北学童クラブ含む)をくわえた周辺施設の更新計画が必要だと思う 区内で基本的に区内で使える大きな敷地は公立学校しかないと思うので有効に使ってもらいたい(23区の中でも特に杉並区教育委員会との連携調整は大変だとは思います 普段区議会や委員会傍聴しています)いつもながら誤字脱字は意味をくみとつていただき対応の程お願いします(文章の訂正 要約等 他の参加者に本意が伝われば助かります)